

**濱口** まちづくり政策の第一に「人々が安全で安心に暮らせるまち」を目指し、そして「みんなで進めるまちづくり」を掲げています。そんな時、個人情報保護法の「誤った扱い、過剰反応」により、情報提供が妨げられて①総合防災計画づくり②学童に対する防犯体制交通安全対策のネットづくり③消防署の「救急医療体制」等々の障害となっているのではないかと。総務企画部長 災害発生や防犯体制では、現状としては要支援者の避難誘導、救出に困難を有し、個人情報を取り扱う行政側の準備体制が整っていないことも考えられます。議員提案のように適切な運用規定を設けてそれを確に実行して行くことが必要ではないかと思えます。

更に、情報の開示、共有化、活用、大変重要なことと認識しています。教育委員会事務局長 児童生徒の連絡網は学校・学級で作るもの、PTAや地区で作るものがあります。学校現場でも、かなり解釈に差異が在るようです。子供達が地域で健全に

また、如何に安心安全に暮らせるかという観点からも研究して行きたいと思えます。

**ひとり暮らしお年寄りの孤独死防止について**

**濱口** 福岡県では全国に先駆けて孤独死防止の見守り事業を県全体として協議会作り、支援態勢作りを進めています。本市の取り組みは、健康福祉部長 地域・民生委員・社会福祉協議会の方々で見守りネットを作って支援対策するよう検討を始めたところです。

**濱口** 以上について市長の決意は、市長 提案のありました防災の問題、要支援者の把握の問題、あるいは地域づくり等について、法律がかえって社会の活性化を妨げるという部分もありますので、市民のみならず関係者の方といる議論を深めて考えて行きたい。



合志市総合防災訓練風景

**まちづくりにおける個人情報保護法の取り扱いについて**



濱口 正暁 議員

**今村** 8月15日に3回目の保険料が年金から天引きされた。この日は63回目の終戦記念日だ。戦前戦後、苦勞して生き抜いた人達から情け容赦なく保険料を取り立てるといふ、この制度の非情さを象徴するやり方で、新たな怒りが広がっている。自民党の中から、うば捨て山という批判が出ています。これについてどう思うか。

**市長** 問題点が沢山あろうとも事実ですから、今後政府もさらに見直しがあると思います。現場で問題があることは、いろんなところで注進していきたく思っています。

**国民を苦しめている新自由主義について**

**今村** 規制緩和・構造改革イコール新自由主義政策についてどのような考えを持っているか、また国民にどのような影響をもたらしたか。

**市長** 小泉内閣の5年余りは、諸政策は新自由主義の考え方によるものと認識している。小さな政府、民間

で出来ることは民間でと、小泉路線は不合理な点や、情性的な政策の改革には役に立ったと思えます。

**子育て支援日本一について**

**今村** 合併時のサブスローガン、子育て支援日本一については、子育て世代から、どこが日本一なんだと厳しい問いかけがある。どこが日本一なのか。

**市長** 将来都市像を実現するための取り組みとして子育て日本一のまちづくりと位置づけている。庁内横断的な課題として、公園は都市計画課、通学路は建設課、子どもの見守りは学校教育課等々、全ての課で網羅して行っている。



ふれあい館にて

今村 直登 議員

**後期高齢者医療制度は医療制度破壊だ**



**資源物集団回収の推進を！**

坂本 早苗 議員

**坂本** 平成19年度の資源物回収団体の活動実績と助成金額、その活動によるごみ処理経費の削減金額は？

**市民部長** 67団体で1188トンのビン、缶、古紙等が収集され、1146万2130円を支払っている。それに対し、1136万円の収集運搬経費が節約され、環境保全組合の負担金ではトン当たり11万8000円で計算すると1億4100万円の処理経費が削減される。

**坂本** 菊陽町では回数加算をして集団回収を奨励し、本市では上限を設けて抑制している。この違いは？

**市民部長** 集団回収が効率的なので今まで40万円で打ち切りしていたが、次年度から頭切りはなくしたい。

**配布物の回数削減は、できないか？**

**坂本** 配布物は週1回嘱託員を通して配られているが、菊池市は月1回、菊陽町、大津町は月2回となっている。配布物を「広報こうし」にまとめ、回数を減らすことはできないか。



永寿会(永江団地)によるアルミ缶回収作業

**都市計画について**

池永 幸生 議員



**池永** 現在合志市で都市計画プランが設定されているが、熊本市が政令都市に向い、道州制による州都も目指す流れの中、当市を活性化、再構築させるためにも熊本都市圏から離脱に取り組み、市街化調整区域を見直し市独自の計画プランを。

**都市建設部長** 都市圏は、国交省令で定める事項に関する現状及び推移等を勘案して一体の都市として整備する必要がある区域として指定してあり、離脱は難しい。しかし、発展にアンバランスがあったり、問題点もあるのをご指摘のように論議し、今ある問題点を解除してゆきたい。

**中心地について**

**池永** 市全体面積の一割を占めている公共用地の活用について、懸念されている電鉄存続、また、分庁方式の見直しに恵楓園一体を合志市の中心地と位置付け出来ないか。

**市長** ハンセン病問題基本法ができる法が制定された。市の中心地になる

総務企画部長 月2回の冊子として発行する方法を各課で協議をしている。年度内に結論を出したい。

**地球温暖化防止計画の策定を急げ！**

**坂本** 地球温暖化防止計画は平成19年度策定を目標にしていると、昨年の一般質問で答弁されていたが、未だにできあがっていない。遅れている理由と今後の見通しを伺う。

**総務企画部長** 市の施設の現状調査に時間がかかった。21年の3月までには策定できるよう進めている。

**坂本** 合併前には両町で実施されていたノーマイカーデーが現在では中止されている。再開する考えはないか。

**市長** 庁議でいろいろ議論をしたが分庁方式になって近距離の職員が少なく部長クラスではほとんどできない。他の方法を追求したい。

るので将来構想を考える検討会を立ち上げ、市民を交えた議論をしたい。

**市発注工事**

**池永** 西合志中改修本体工事の受注者の共同企業体の一社が民事再生法の申請をした。発注者である市は入札に際し、どのような審査、選定基準を設けたのか。また、共同企業体による発注なら、なぜ地元業者の組合せは出来なかったのか。

**総務企画部長** 心配かけているが、経営事項審査と工事入札参加資格者格付け要件に基づく等級で選んでいる。工事を適正円滑に施工するためや危険の分散からも共同企業体の発注とした。あの工事は金額も高いし、市内業者は不可能だった。



市発注工事(地元一社もとれず)